



内閣総理大臣賞(1件)

内閣総理大臣賞

「個人・グループ・学校」分野

受賞者名

広島県福山市立千年小学校

所在地

広島県福山市

受賞テーマ

はばたけ 千年っ子

㊦ るさとを

㊩ っくり

㊮ がめて

㊮ んなで育てよう エコのまち「ちとせ」

同校では、人と人とのふれあいを通じ、自然の大切さ、資源の大切さ、環境を守る大切さを学習し、身近な生活の中で実践できる環境保全の活動や、この地域の特性を活かした環境教育を、学校並びに保護者、地域が常に連携し絆を深め、学びあい・みがきあい・ひびきあい、そして支えあいながら地球環境を守る学習と活動を実践している。

児童会活動を中心に学校、保護者、地域が協働し、毎週木曜日を食品トレー回収日として、児童と教職員の家庭から排出されるトレーを回収しリサイクル活動を推進している。

また、主体的に児童が活動できるように牛乳パックやダンボールの回収、エコクラブ活動、ネイチャーゲームクラブ活動、テーマ別環境出前授業、エコクッキング、リサイクル体験講座、環境ポスターの作成、農業体験など校内学習のみでなく校外での体験型活動や学習を積極的に取り入れ、保護者や地域の支援のもと学校だからこそできる関わりあいを持ち、様々な視点から教科を越えて地球環境を守る大切さや食の大切さ、労働の大切さを一体化し実感させることを学校教育に位置づけている。

環境教育、環境学習を継続的に実施することにより、日常生活の中で身近に取り組めることを気付かせ、児童が主体的に疑問や意見を出し合うことによって、自らが積極的な行動を実践できることが身に付いている。

同校の特徴である「学校と地域のコミュニケーション」を大切にし、人と人との絆を深め、これまでとこれからの繋がる気持ちを大切にし、沼隈町出身山本瀧之助の学ぶ生き方「一日一善」の精神で、現代社会における人と地域の繋がりを大切にしている。

【食品トレー回収活動】

毎週木曜日を回収日として児童や教職員が学校に持参している。登校時に地域の住民も児童にトレーを預け、協力している。本年度からは、回収日を毎日として 毎週木曜日に白色トレーと色付きトレーの仕分け作業を行っている。

学校で回収した食品トレーは、トレーからトレーにリサイクルを行っている株式会社エフピコへ引渡しをしている。



【牛乳パックとダンボールの回収活動】

給食委員会の児童が全校集会で、教科書は牛乳パックなどをリサイクルした再生紙で作られていることなどを伝え、紙資源の大切さを認識し身近にできる活動として牛乳パックの開き方・洗い方を説明し、全児童と教職員がリサイクル活動を推進している。

水道使用量を抑制するため、牛乳パックを洗う水は必要量だけをバケツに汲み洗浄を行っている。

開いて洗い乾燥させた牛乳パックは、給食委員会の児童が1枚ずつ丁寧に重ねて箱詰めし、一定程度の量が貯まると回収したダンボールと一緒に紙資源回収業者に持ち込みリサイクルを行っている。

【千年小エコクラブ活動】

ごみの減量と再利用のため、不用となった衣類や古布などを持ち寄り、地域の住民の指導のもと、ペットボトル湯たんぽや鍋風呂敷作りを開催している。

エコクラブの児童は、鍋風呂敷以外にも再利用できないことがないだろうか、様々な意見を出し合い、ペットボトル湯たんぽを作った。



【テーマ別環境出前授業の実施】

地域の環境について学習を深めるため地域の住民や地元企業、行政機関を外部講師として招き、テーマ別（3R・ごみ・水・地球温暖化）の出前授業を実施している。

地域にあるボランティア団体「脱温暖化 んまくまフォーラム」から講師を招き、学校や家庭で身近に取り組める 3R の実践や省エネ・節電などのエコライフの出前授業を実施し、自分たちに何ができるか話し合い、できるときにできることを実践して行くことを確認し合った。



【環境ポスターの作成】

地域にも正しいごみの分別や 3R の実践を呼びかけるため地域のごみステーションや公共施設などに掲示してもらい市民啓発も実施している。



【校内学習発表会】

本校のエコクラブの児童が、環境について取り組んだことや活動したことを全児童と保護者に報告し、環境を守ることの大切さを伝えている。



【福山市環境学習モデル校の指定】

福山市の施策である「環境学習モデル校」の指定を受け、学校及び保護者、地域が協働し、年間を通じて取り組んだ環境学習や活動の実践について、他の小中学校へも環境学習の輪を広げるため、本校の児童、教職員、保護者が学習発表会において発表している。

